平成26年
12月14日執行

衆議院小選挙区選出議員選挙選挙公報

栃木県第２区

栃木県選挙管理委員会

自民党公認

西川こうや（にしかわ）

昭和十七年十二月二十六日生(七二歳)

地方の賑わい（にぎわい）を取り戻す！

安全・安心の社会づくり

- 国民の生命・財産を守る**国土強靭化、災害対策、インフラ老朽化対策**を責任を持って進めます。
- **持続可能な社会保障制度**を確立し、将来の安心につなげます。
- 将来を担う子どもたちが**質の高い教育**を受けることができる社会を実現します。
- 働き方、生き方などで個性や能力を十分に発揮し、すべての**女性が輝く**社会の実現を目指します。

経済の好循環を実現

- **物価動向や米価下落、消費**に関する地域の実情に十分配慮し、足元の経済状況を改善するため、**力強い景気対策**を速やかに実施します。
- 企業の収益を増やし、**雇用や賃金の増加**を伴う経済の好循環の更なる拡大を目指します。
- わが国経済の競争力向上のため、来年度から**法人税改革**に着手します。

農業を成長産業へ

- 米の需給調整対策を断行するとともに農協等の売り急ぎを防ぎ、**米価を回復**させます。
- 農林水産業の成長産業化を図るため、農地集積バンクによる**水田のフル活用、6次産業化と輸出、日本型直接支払いの拡充、森林整備の加速化**等を進めます。
- **TPP交渉**は自民党や国会の決議を踏まえ、**国益にかなう最善の道**を追及します。

地方創生へ向けて

- 人口減少問題に対処するため、総合的な**少子化対策**に取り組み、若い世代の**就労、結婚、子育て**の希望を実現させます。
- 地域経済を支える**中小企業・小規模事業者**に対するきめ細かい支援を行い、地域が潤う好循環を実現します。
- **観光立県**を促進し、観光資源の戦略的な活用や観光産業の活性化を通じ、地域経済の発展を目指します。

西川公也の経歴

- 昭和17年　栃木県さくら市(旧氏家町)に生まれる
- 昭和36年　宇都宮高等学校卒業
- 昭和42年　東京農工大大学院修了
- 同　　年　栃木県庁職員
- 昭和54年　栃木県議会議員初当選(連続5期)
- 平成　5年　栃木県議会議長(第81代)
- 平成　8年　衆議院議員初当選(連続4期)
- 平成14年　経済産業大臣政務官
- 平成16年　内閣府副大臣
- 平成18年　衆議院農林水産委員長
- 平成25年　自民党TPP対策委員長
- 平成26年　**農林水産大臣**

比例代表も自民党へ

日本共産党

あべ秀実（ひでみ）

1959年9月28日生(55歳)

消費税10％キッパリ中止　国民の声が生きる新しい政治を

消費税増税、集団的自衛権、原発再稼働――民意を無視し暴走を続ける安倍政権に怒りと批判が大きく広がっています。

あなたの一票で暴走をストップさせ政治を変えるときです。日本共産党をのばせば政治は動きます。「政治を変えたい」との思いを、日本共産党と私、あべ秀実に託してください。

日本の政治の「5つの転換」を

財源

「消費税に頼らない別の道」を提案します

- 富裕層と大企業への優遇をあらため「能力に応じた負担」の原則をつらぬく税制改革をすすめます。
- 大企業の内部留保の一部を活用し、国民の所得を増やす経済改革で税収を増やします。

アベノミクス

「格差拡大」の暴走ストップ くらし第一で経済たてなおす

- 人間らしく働ける雇用のルールをつくります。
- 連続削減ストップ、暮らしを支える社会保障に。
- TPP交渉からの撤退、農林水産業、中小企業と地域経済を振興します。

集団的自衛権

「戦争する国」づくり許さない

憲法9条生かした平和外交を

- 集団的自衛権の「閣議決定」撤回、秘密保護法の撤廃を求めます。
- 9条の精神に立った平和の外交戦略で、北東アジアの平和と安定を築きます。

原発

再稼働ストップ「原発ゼロの日本」へ

- 無謀な原発再稼働強行・原発輸出に反対します。
- 再生可能エネルギーの大幅導入へ抜本的転換を。
- すべての原発被害者に国と東電の責任で必要な支援を求めます。

沖縄基地

新基地建設は中止を

基地のない平和な島へ

- 新基地建設ストップ、普天間基地の無条件撤去を。
- オスプレイ配備の撤回を要求し、オスプレイの全国展開に反対します。

比例代表は日本共産党とお書きください

未来に責任を負う政党、それが日本共産党です

●綱領という未来への確かな羅針盤を持つ政党です

安倍政権の暴走に真正面から対決するだけでなく、国民の立場で建設的な提案ができるのも根本には、綱領の力があるからです。

●たしかな歴史を持つ党こそ、未来をひらく先頭に立てます

党をつくって92年。ひとすじに反戦平和をつらぬいてきた政党の存在意義にかけて、歴史を偽造する逆流や戦争への道は許しません。

●企業・団体献金禁止、政党助成金の廃止を

企業・団体献金も、政党助成金も受け取らず、財政も、一人ひとりの国民に支えられて活動する唯一の政党です。

●政策の詳細はホームページ　日本共産党　検索　http://www.jcp.or.jp/

あべ秀実略歴　●1959年鹿沼市生まれ。鹿沼市立中央小、東中、佐野日大高校卒●党２区政策委員長、中部地区委員

原発ゼロ、最終処分場計画は白紙撤回に　あなたの一票を　あべ秀実と日本共産党へ

民主党

福田あきお（ふくだ）

昭和23年4月17日生まれ　66歳

日本の未来を立て直す!!

不公平な税制の是正、非正規雇用の縮小を実現し誰もが夢と希望が持てる国を創ります。

立候補にあたって

私は放射性指定廃棄物の原発敷地内での集中管理を主張してきました。私の考えに同調する皆さんの先頭に立って、汚染された地域を、福島を、日本を救う最善の道を切り開いていく覚悟です。

安倍政権の暴走は日本を危険な国へと向わせています。また、誤った経済政策による格差の拡大、燃料などの高騰と実質賃金の低下、地方経済の低迷などが続き、農村では米価が過去最低になり、戸別所得補償制度の廃止も重なって農家は深刻な状況に陥っています。

このたびの唐突な衆議院解散は、閣僚の不祥事と「アベノミクス」失敗を隠し、自らの延命を狙った解散です。700億円とも言われる選挙費用の無駄遣いは許せません。

安倍政権に「ノー！」と言いましょう。そして共に日本の未来を立て直しましょう。

安倍政権の暴走と間違った経済政策を止めます。
デフレ脱却なくして増税なし。
脱原発！放射性指定廃棄物の拡散を防ぎ、安全な国土を創ります。

- ○放射性指定廃棄物は東電原発敷地で最終処分！
- ○国益を守れないTPPへの参加に反対！
- ○消費増税の前に身を切る改革の断行！
  議員定数削減や特別会計、独立行政法人等の改革
- ○アベノミクスは0点、来年10月の消費税増税は凍結！
  実質賃金低下や円安倒産等不況が続き、増税は不可能。
  経済政策の抜本的見直しが必要
- ○少子高齢・人口減少時代への対策の充実
  ・子育てや介護をしながら働いたり社会参加できる環境づくり
  ・年金、医療、介護、子育て、難病等の社会保障費を確保します。
- ○ストップ・ザ・格差社会、生涯派遣にNO！
  市場原理主義による格差拡大を阻止
- ○新たな需要と雇用の創出による地方創生の推進！
  ・地方への投資や本社機能移転を優遇し、研究開発から事業化までを支援
  ・米等農産物価格の下落対策と戸別所得補償制度の法制化
  ・世界遺産をPRして外客を誘致し、会議やイベント等の機能を備えた施設整備の促進
- ○特定秘密保護法案の施行延期と集団的自衛権行使容認の閣議決定の白紙撤回！
- ○国際化時代に対応した教育、人づくりの推進！
  多言語教育や自己教育力の強化を推進

★福田あきおのプロフィール★

○昭和23年4月　日光市小百に生まれる。
○東北大学教育学部を卒業、旧今市市職員となる。市企画係長、財政課長を務める。
○平成3年～12年まで旧今市市長。全国に先駆けて教育・福祉・子育て・生活環境の向上に努める。平成9年～10年、全国青年市長会長を務める。
○平成12年～16年まで栃木県知事。栃木県土地改良事業団体連合会会長。平成16年度県財政健全度全国第一位となる。
○平成17年～衆議院議員(3期)。総務委員会筆頭理事、予算委員会委員、内閣委員会委員、環境委員会委員、東日本大震災復興特別委員会委員を務める。平成23～24年総務大臣政務官に就任、東日本大震災・原発事故対策に取り組む。原子力損害賠償紛争審査会の県内現地調査を要請、それにより農畜産・観光など多くの分野が風評被害損害賠償の対象となった。　政府の第31次地方制度調査会委員等を務める。
党においては副幹事長、国会対策副委員長、常任幹事等を務め、現在県連代表。
二宮尊徳思想研究会議員連盟会長。
○家族は妻と1男3女（それぞれ結婚し独立）と愛犬。

福田あきお事務所
〒321-2335　日光市森友739-1
ホームページ　http://fukudaa-houtoku.com/
電子メール　akio417@rose.plala.or.jp

（この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版によって印刷したものです。）